

## 第 20 回協働実践研究会報告

2025 年 2 月 23 日（日）13:30～17:00、文藻外語大学にて第 20 回協働実践研究会が開催されました。今回は台湾協働実践研究会と日本協働実践研究会の主催、文藻外語大学日本語学科・日本台湾交流協会高雄事務所の共催による「台日を結ぶ協働実践シンポジウム」として行われ、72 名の方に参加いただきました。

当日のプログラムは以下の通りです。

<b>開会</b>	<b>13:30-13:40</b>	
13:35-13:40	日本語文系主任あいさつ 陳淑瑩（文藻外語大学日本語学科）	
<b>発表（話題提供）</b>	<b>13:40-15:30</b>	
13:40-14:00	ピア・ラーニングを始めよう！ 池田玲子（昭和女子大学）	
14:00-14:20	ピア・ラーニングによるケース学習 近藤彩（昭和女子大学）	
14:20-14:40	ゼロ級の日本語教室から実践できるピア・ラーニング 羅曉勤（台中科技大学）	
14:50-15:10	成人日本語学習者が勉強し続ける理由—電子掲示板にみる 「学ぶ喜び」 許均瑞（国立空中大學）	
15:10-15:30	日台教育実習生による協働型日本語キャンプで得られた学び 張瑜珊（東海大学）	
<b>休憩</b>	<b>15:30-15:50</b>	
<b>話し合いと共有</b>	<b>15:50-16:35</b>	 参加申し込み
<b>閉会</b>	<b>16:40</b>	

まず、会場校の文藻外語大学日本語文系教授の董壯敬先生から開会のあいさつをいただきました。その後の発表では、5 人の先生方から「協働」「ピア・ラーニング」をキーワードに 5 つのテーマで話題提供がされました。休憩後はラウンドテーブルの場を設け、それぞれのグループに分かれて話題提供者の周りに集まり、活発な意見交換が交わされました。



開会式



話題提供の様子



ラウンドテーブルの様子

事後アンケートには「いろいろな実践を行っていらっしゃる先生方の話題提供があり、非常に参考になった。」「ピア・ラーニングを自らの担当クラスで実施する場合の問題点が池田先生と近藤先生のご講演中で触れられたので、今後そうした問題点を修正できるよう努めていきたいと考えた。その意味で大変有意義であった。」などの好意的なお声が聞かれました。一方で、「ラウンドテーブルの時間が少し短く感じました。もう少し皆さんの話を聞きたいです。」など、タイムスケジュールについてのご意見もいただきました。今後の運営に活かしていきたいと思います。

文責：小浦方理恵